

第2章 環境情報の提供及び普及啓発

1 宮崎県環境情報センターの運営

県では、県民の自然や生活環境問題に関する知識・情報の普及や環境に関する教育・学習や活動を支援する拠点として、平成3年8月に宮崎県環境情報センターを設置しました。平成18年7月には県立図書館内に移転し、同館と連携しながら、環境に関する情報の収集・提供、環境講座・出前研修の開催、環境保全アドバイザーの派遣、各種研修会への支援等の業務を行っています。平成29年度のセンター利用者数は、41,990人となっています。

■所在地： 宮崎市船塚3-210-1 宮崎県立図書館1F
 TEL：0985-23-0322 FAX：0985-26-4720
<http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/center>
 E-mail：kankyojyoho@coral.ocn.ne.jp

2 環境月間及び環境の日の取組

国は、平成3年度から6月を「環境月間」として設定し、国、地方公共団体、民間団体等により全国規模での各種の普及啓発事業が実施されています。さらに、平成5年11月に制定された環境基本法で、事業者及び国民の間に広く環境保全についての関心を高めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるため、6月5日が「環境の日」と定められました。

平成29年度の環境の日及び環境月間に関連し、県が実施した主な行事は次表のとおりです。

環境月間に関連し県が実施した主な行事（平成29年度）

行 事 名	概 要	参加(対象)	期 間
みどりの特別企画展	環境及び森林に関する啓発パネルの展示等	県民	5月23日 ～6月4日
環境月間に関する広報	ラジオ、テレビ、広報誌等による環境月間の周知・啓発	県民	6月中
〃	懸垂幕による環境月間の意識啓発	県庁舎 (7号館)	6月1日 ～30日
ノーマイカーデーの推進	県民に広く通勤時のマイカー利用自粛等の呼びかけ	県民	6月1日 ～30日
「環境の日」キャンペーン	街頭で、環境保全に関する啓発チラシ・啓発グッズの配布等	県内8か所	6月2日他
C02削減/ライトダウンキャンペーン	ライトアップ施設及び家庭における一斉消灯の呼びかけ	県内	6月21日 ～7月7日
宮崎県地域環境保全功労者等表彰式	地域の環境保全に関し、特に顕著な功績のあった個人や事業者の表彰	県民・事業者	6月27日
みやざきエコフェスティバル2017	水素燃料電池自動車展示やNPOのブースなど、環境保全に関する普及啓発イベント	県民	7月15日 ～16日

3 啓発紙「ecoみやざき」の発行

環境に関する施策や話題、県内の環境保全の取組などを紹介した啓発紙「ecoみやざき」を発行しています。平成29年度は、7月、10月、1月の年3回、各8,000部発行し、学校や事業所、団体等に配布しました。

4 宮崎県地域環境保全功労者等表彰（県知事表彰）

県では、昭和55年から、地域の環境保全に関し、特に顕著な功績のあった個人や事業者を表彰

しており、平成30年3月までに369の個人・団体を表彰しています。

平成29年度は、下記の3個人・7団体が表彰を受け、6月27日に県庁本館講堂で表彰式を行いました。

平成29年度被表彰者

区分名	個人・団体名	主な活動内容
個人	安在 哲幸	<ul style="list-style-type: none"> 平成4年に宮崎県産業廃棄物協会に入会して以降、約24年間にわたり、産業廃棄物処理業の信頼度向上と発展に尽力。 会長就任後、県内4支部に出向き、出前講座の実施や、一般向けの講座の開催など、県の産業廃棄物の適正処理に大いに貢献。
	猪崎 悦子	<ul style="list-style-type: none"> ネイチャーゲームや自然観察会の講師として、地域の団体や小学校等で環境講座を行う他、宮崎県野鳥の会副支部長や水源の森づくりをすすめる会の副会長等を務め、毎月実施する野鳥観察会や、植樹等を企画。 宮崎県環境審議会委員を16年継続し、県の環境行政にも大いに貢献。
	村田 壽	<ul style="list-style-type: none"> 平成7年に宮崎県環境審議会委員に就任して以降、12期21年余にわたり学識に基づく専門的な見地から、本県の環境保全に関する基本的事項及び重要事項の調査審議等に携わる。 平成20年に同審議会会長就任以降、県の環境基本計画の策定並びに改定等の審議や答申を取りまとめるなど、多年にわたり県の環境行政の推進に多大な貢献。
団体	憶地域まちづくり推進委員会 環境部会	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年の設立以降、憶地域の海岸・川等の保全を目的に活動。 宮崎大学や、みやざき公園協会、憶地域周辺の小学校等と協力し、環境保全の啓発や環境学習会等を実施しており、希少生物が存在する入り江等の保全など、地域に根ざした環境保全に貢献。
	上川登百年会	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年以降7年間にわたり、地域の清掃活動等、環境美化及び、地域住民への環境美化意識の啓発を実施。 三田井地区、上川登地区の道路沿いにある休耕地への植栽、手入れ等を季節ごとに行い、地域の環境美化に貢献。
	川南湿原を守る会	<ul style="list-style-type: none"> 川南湿原の環境整備や、そこに生息する植物の保護活動を実施する他、湿原保全のためのシンポジウムの開催や、他団体が湿原で見学会をする際の案内人活動など、湿原の環境保全に向けて精力的に活動。 活動により湿原環境が改善され、希少植物の生息数が増加するなど、環境保全に貢献。
	社会福祉法人 明照福祉会 原口こども園	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度こどもエコチャレンジ施設に認定され、活動を継続。 園内でのリサイクル活動の実施や、県が実施する幼児向け環境教育プログラムの積極的な活用等の他、地域で実施する美化活動等に積極的に参加するなど、園児が園内外で持続的に環境保全に触れる機会を設け、環境教育を積極的に実施。
	宮崎市立住吉中学校	<ul style="list-style-type: none"> 「53（ごみ）の日清掃活動」として、毎月5、3のつく日の朝に、地域奉仕等を実施する委員会を筆頭に、学校周りのゴミ拾いを実施。 地域の依頼にあわせ、生徒がボランティア活動に参加するという連携体制が構築されているなど、地域と連携し環境美化に貢献。
	山崎川を清流に戻す有志の会	<ul style="list-style-type: none"> 山崎川の水辺環境を保全するため、近隣学校、PTA、地域住民により会を設け、川周辺の草刈りや、草花や桜、柳等の植栽、動植物の再生等を実施。 近隣の学校や地域と連携し、地域の子どもたちに対して、川のゴミ拾いの指導や、水質・水生生物等を取りあげた環境教育を実施。
	和石地区田園の景観を守る会	<ul style="list-style-type: none"> 地域の田園の保全、里山美化のための清掃活動、環境整備を平成19年の設立以降10年間にわたり実施。 毎年地域外の方を対象として企画・実施する自然観察会等のイベント（おねっこ祭り、里山ウォーキングなど）では、希少植物の保全等を通して環境保全等の啓発を行うなど、地域の環境保全に貢献。